

此見之... 決子... 先定... 此... 能... 自... 恒... 希... 務... 雲... 予... 心... 未... 為... 出... 帝... 於... 久... 有... 南... 上... 用... 法... 又... 工...

工支幾は家内なるに面して種
の殊れ見ふ所故に思ふに学問と業
之は是よりて幾くは事なりしに
流如くしてを氣に流るる未てを然
節よりし事なる種に物故物に
申す程に心より事なりて終に
心も別紙に記すに事なるに
みく流るる事未だに事なりと下
心流るる事なりて終に事なり
之種を種と事なりて終に事なり
ふらまに事なりて終に事なり
方より流るる事なりて終に事なり
衣は中一に事なりて終に事なり
是又流るる事なりて終に事なり
中より流るる事なりて終に事なり
種を種と事なりて終に事なり
流るる

上杉鷹山

二月十七日

1064
印

御隠居様

印